弊社の災害対応一覧

令和元年 東日本台風(台風19号)災害（吾妻川(嬬恋村)土砂洪水災害）

被災箇所の床固群
予備・詳細・修正設計

2019

令和2年 7月豪雨災害（球磨川流域大水害）

ドローンによる流域
全体災害実態調査

2020

平成29年 九州北部豪雨災害（赤谷川土石流・流木災害）

・赤谷川流域
・砂防堰堤及び床固
工予備・詳細設計

2017

平成30年 7月豪雨災害（広島県土石流災害）

災害箇所の砂防計画
及び設計

2018

平成27年 関東東北豪雨災害（日光芹沢地区土石流災害）

間の沢外応急対策
調査検討業務

2015

平成28年 熊本地震（阿蘇市山腹崩壊・土砂流出災害）

災害箇所予備設計
砂防技術基準改定

2016

平成24年 九州北部豪雨災害（阿蘇市土石流災害）

・土石流災害緊急調査
・災害関連緊急砂防
予備設計

2012

2010

平成20年 岩手・宮城内陸地震

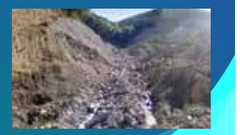
・磐井川土石流災害対策設計　・緊急砂防事業計画検討

2008

平成17年 別府田野川（宮崎県）土石流災害

微地形分類図作成　土石流監視システム
砂防堰堤設計業務

2005



平成15年 集川（熊本県水俣市）土石流災害

・緊急砂防施設の設計
・監視カメラの設置
・災害復旧記録誌作成

2003

2000

平成3年 雲仙普賢岳大火砕流

地形変動調査
砂防施設配置計画

1991

1990

平成2年 砂防エンジニアリング 株式会社設立

SABO E.

砂防エンジニアリング株式会社

会社案内

日本で唯一の砂防専門建設コンサルタント

災害を防ぎ安全・安心な社会づくりを目指す

社長挨拶

砂防エンジニアリング株式会社は、平成2年5月2日に設立した我が国初の砂防専門の建設コンサルタントです。

平成2年の雲仙普賢岳噴火対策に始まり、近年では平成24年7月九州北部豪雨による阿蘇地域や平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害対策、さらに平成27年9月関東・東北豪雨, 平成28年4月熊本地震, 平成29年7月九州北部豪雨, 平成30年西日本豪雨, 令和元年東日本台風（台風19号）, 令和2年7月豪雨など頻発する土砂災害対策に深く関わりながら、砂防に関するコンサルティング活動を行ってまいりました。また海外においても、フィリピンのピナツボ火山活動(平成3年)やマヨン火山活動（平成6年）の防災対策に関わるなど、国内外にて事業展開を図り、令和2年5月に創立30周年を迎えました。

私たちをとりまく自然・社会環境は常に変化し、特に近年の自然災害は発生頻度が高まって広範囲かつ同時多発的に発生する傾向にあり、従来のハード整備だけではなく、地域の特性に応じた防災計画などソフト対策の重要性が高まっており、我々が携わる砂防事業へのニーズも一層の多様化、高度化が求められております。特に最近では従来の土砂災害に加えて、火山活動、地震をはじめ地球規模での環境変化に伴う災害の可能性がクローズアップされ、日常生活においても、防災に対する意識が身近な問題として高まってきております。

私たち砂防エンジニアリング社は、微地形の調査・解析、土砂洪水氾濫解析から砂防施設の設計・維持管理・施工管理、そして土砂災害防止の監視・制御システムの導入など、まさに砂防事業全般にわたるワンストップサービスを提供してまいりました。さらに平成25年7月に日水コングループに加わりましたことを契機として、土砂災害からのインフラ・ライフライン保全対策にも事業展開するなど更なる発展を遂げております。

創業時のマインドを継承し、時代の要請に応え社会の変化に順応できる砂防専門の建設コンサルタントとして、日水コングループの防災部門の核として、今後も安全・安心な社会づくりに貢献してまいります。

代表取締役社長
野正　博之

研究開発

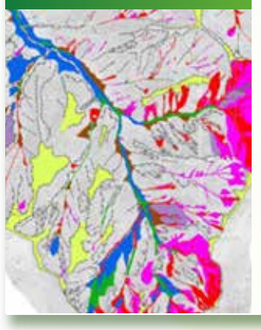
最先端の手法・技術を追求

● ソフト対策でのAI活用研究

人工衛星画像データ等を活用して当社の基盤技術である微地形判読を行うAIシステムについて社内研究開発行っています。さらに、AIシステムで作成した微地形分類図の危険度評価までを可能とするAIシステムを構築することを目指しています。本研究過程で、現地写真を用いたAI解析による急傾斜地での崩壊発生危険度評価に関する研究を行っています。これらAIに関する研究成果は調査計画業務で応用し活用しています。

調査・計画

調査・計画解析手法の確立



● 砂防関係施設の長寿命化計画

予防保全型の維持管理によるライフサイクルコストの縮減や各年の維持等に要する費用の平準化を図り、確実に砂防関係施設の機能を確保する長寿命化計画をご提案します。

● 土砂・洪水氾濫対策計画　－数値解析による施設配置－

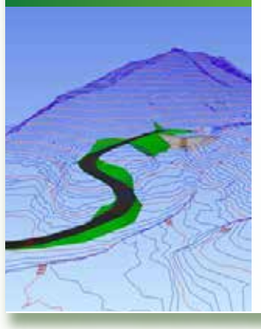
細粒分を主体とした土砂の流出・堆積による土砂・洪水氾濫を防止・軽減するため、河床変動計算での施設整備前後の流出土砂量等により施設配置をご提案します。

● 砂防微地形解析　－土砂移動危険箇所に着目した施設配置－

土砂生産現象の危険箇所の分布を基にした微地形解析により災害リスクを評価した上で、施設整備が必要で効果的な場所と規模を検討する施設配置をご提案します。

設　計

人と自然が共存できる環境づくりを目指して



● 砂防施設の設計

水系砂防（土砂・洪水氾濫対策）、土石流対策、流木対策、火山砂防の計画施設、及び既設施設の補強や機能向上のための改築について最適な施設設計をご提供します。

● 施工計画・コスト縮減

現地発生材を有効活用する砂防ソイルセメント工法など設計・施工の合理化によりコスト縮減をご提案します。また、現場条件に応じた施工計画や仮設計画をご提供します。

● 既存ストックの有効活用

非破壊検査やFEM解析による砂防施設の健全度調査を実施し、施設点検をサポートします。また、施設点検等の基本的な方法としてUAVによる方法についてご提供します。

社員インタビュー① “砂防”という言葉　生活基盤を支える建設コンサルタント業界

現在、砂防分野の建設コンサルタント業界に所属していますが、学生時代はどういった職種か全く知りませんでした。転機となったのは、学生時代に訪れた調査時の指導教官からの一言です。

「報道では表には出ないけど、土砂災害などの自然災害から人の命を守るのが砂防の仕事だよ」今の仕事に興味を持ったのは、この言葉がきっかけでした。熊本地震の災害対応にも携わりましたが、被災した家屋を目の当たりにした時は自然災害の恐ろしさと共に自分の仕事の責任感を再認識できました。

現場状況により答えは変わってきますが、自分なりの考えをもって仕事に取り組み、それが評価されることにとてもやりがいを感じられます。今後も、少しでも多く自然災害への脅威を取り除いていくことに努めていきたいです。

技術部　砂防設計課　太田 紘樹

社員インタビュー② 技術力を高め合う

砂防エンジニアリングは、社員一人一人の技術力が高く、日々の業務の中でさらにお互いの技術力を高め合っていける会社です。

私が入社意思を固めたのは、社員の専門性の高さや技術力が素晴らしいと感じ、この環境の中で自分も学びながら成長したいと考えたからです。

実際に入社してからは、自分の能力不足を感じる場面も多いのですが、あたたかく成長を見守ってくれる上司や先輩にとても感謝しています。砂防エンジニアリングは、このようなとても恵まれた環境で、自分の仕事が人々の安全を守ることに繋がっていることを感じながら、学び成長し続けることができる会社です。

技術部　砂防調査課　三府 範子

社員インタビュー③ 縁の下の力持ちとして土砂災害防止に貢献

入社して5年間、砂防堰堤をはじめとする防災施設の設計を中心に、様々な業務に携わってきました。

設計業務では、地方整備局・都道府県ごとの技術指針を遵守しつつ、地形、地質、保全すべき人家・道路・文化財といった現場条件を念頭に入れながら、安全かつ必要最小限の構造形状を考えていかなければなりません。色々な制約条件がある中でいかに最適解を見つけることができるかが腕の見せ所でもあります。

建設コンサルタントは表立って活躍する場面の少ない仕事ではありますが、効果的なハード・ソフト対策を実現するためには、専門家として調査・計画・設計を担う私達の存在が不可欠です。これからも、縁の下の力持ちとして日本の安心・安全な暮らしを支えていきたいと思います。

技術部　九州砂防課　白井 貴也

企業概要

社 名	砂防エンジニアリング株式会社
本 社	〒350-0033 埼玉県川越市富士見町31-9 TEL：049-226-7807　FAX：049-227-7075
設 立	1990年5月2日
資 本 金	20,000,000円
登 録	建設コンサルタント　建01第4752号 登録部門：河川、砂防及び海岸・海洋部門・道路部門 測量業者　第(6)-25339号
役 員	代表取締役　野正　博之 専務取締役　前海　眞司 取締役　外山　泉 監査役　春　公一郎
大石微地形砂防研究所	外山　泉（所長） 安養寺　信夫（管掌）
顧 問	藏重　俊夫（相談役） 山本　卓郎（技術統括） 髙橋　透（技術顧問）
技術調査役	佐藤　勇　藤田　明　井戸　清雄 永吉　修平　宮崎　勝巳 中島　彬　工藤　富雄
職 員	44名（うち技術系職員32名）-令和5年10月現在-
資 格	● 技術士 建設部門（河川、砂防及び海外・海洋）15名 ● RCCM 7名 ● 砂防・急傾斜管理技術者 2名 ● 1級土木施工管理技士 2名 ● 測量士 7名
ISO	審査登録済（本社及び九州支社） 適用規格　ISO 9001 登録番号　JUSE-RA-1635 登録日　2022年11月24日 有効期間　2021年10月29日～2024年10月28日
主な取引銀行	三井住友銀行　埼玉りそな銀行

企業沿革

平成2年5月	砂防エンジニアリング株式会社設立
平成8年5月	九州事務所開設（熊本県熊本市）
平成11年12月	宮崎支店開設（宮崎県宮崎市）
平成15年3月	青森営業所開設（青森県青森市：現 青森支店）
平成16年12月	鹿児島営業所開設（鹿児島県鹿児島市：現 鹿児島支店）
平成26年4月	関西支店移転（大阪府吹田市）
平成27年4月	福岡支店開設（福岡県福岡市）
平成29年6月	栃木支店開設（栃木県宇都宮市）
平成30年4月	北陸支店移転（長野県安曇野市）
平成30年9月	岐阜支店移転（岐阜県大垣市）
令和3年5月	九州支社移転（熊本県熊本市：現九州支社） 神奈川支店移転（神奈川県横浜市：現神奈川支店）
令和4年4月	山梨支店開設（山梨県甲府市）
令和4年6月	新潟支店開設（新潟県新潟市）
令和4年8月	中国支店移転（広島県広島市）
令和5年8月	群馬支店開設（群馬県前橋市）

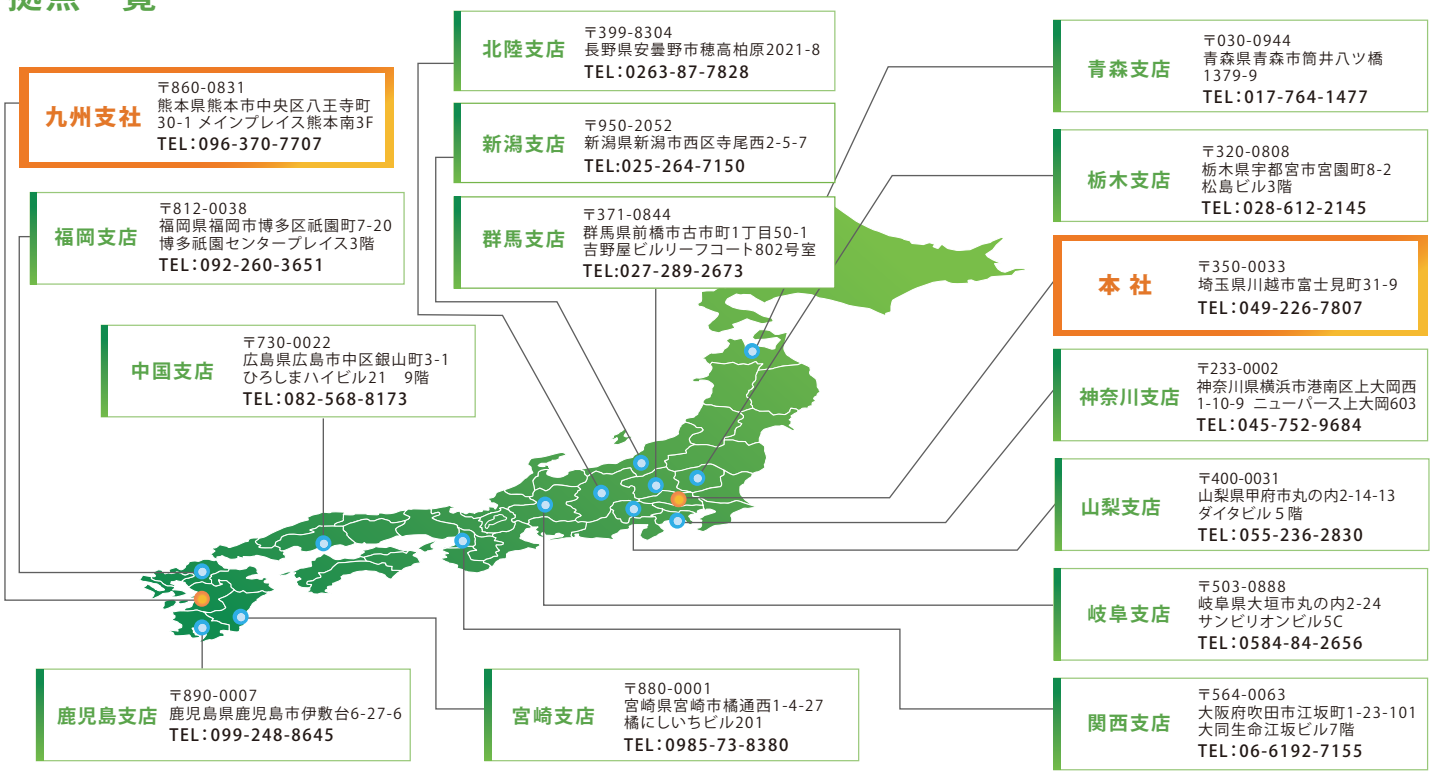
ロ　ゴ

中央部は水と緑に覆われた美しい自然、平和な地球をイメージしています。上下左右の線は現在から未来への縦の流れ、社会という横のひろがりとの交差点を表しています。

社　是

1. 広い視野から足許をしっかりと見つめた砂防エンジニアリング
2. 社会の変化に順応したしなやかで堅実な経営マネジメント
3. 社会に奉仕する格調あるコンサルティング

拠点一覧



砂防エンジニアリング株式会社　表彰実績

局長表彰（国土交通省）

令和5年	東北地方整備局　八幡平山系砂防事業評価等検討業務
令和5年	九州地方整備局　令和４年度筑後川水系赤谷川流域砂防設備設計等業務
令和5年	九州地方整備局　令和４年度阿蘇砂防事業効果検討外業務
令和4年	九州地方整備局　令和２年度阿蘇山土砂洪水氾濫対策計画技術検討業務
令和3年	九州地方整備局　川辺川ダム砂防事務所管内被災状況調査業務（災害復旧等功労業者）
令和2年	関東地方整備局　H31砂防施設施工計画検討業務
令和2年	九州地方整備局　令和元年度阿蘇中央火口丘外砂防堰堤予備設計業務
平成30年	東北地方整備局　阿武隈川水系砂防事業評価検討業務
平成27年	関東地方整備局　H26釜無川流域既設砂防施設改築設計業務
平成26年	九州地方整備局　大幡第１砂防堰堤補強外設計業務
平成25年	関東地方整備局　三依地区砂防堰堤群詳細設計業務
平成20年	関東地方整備局　砂防計画検討資料作成業務
平成13年	中国地方整備局　広島西部山系砂防微地形調査業務

事務所長表彰(国土交通省)

令和5年	利根川水系砂防事務所（関東地方設備局）　R3吾妻川流域砂防施設詳細設計業務
令和3年	川辺川ダム砂防事務所（九州地方整備局）　川辺川流域砂防施設配置検討業務（業務/技術者）
令和3年	岩手河川国道事務所（東北地方整備局）　八幡平山系砂防事業評価検討業務
令和2年	筑後川河川事務所（九州地方整備局）　筑後川水系赤谷川流域砂防堰堤設計（その2）業務
平成29年	福島河川国道事務所（東北地方整備局）　阿武隈川水系砂防事業評価検討業務
平成29年	川辺川ダム砂防事務所（九州地方整備局）　川辺川砂防設備長寿命化計画検討業務
平成26年	松本砂防事務所（北陸地方整備局）　梓川流域崩壊生産土砂量等調査検討業務
平成26年	大隅河川国道事務所（九州地方整備局）　桜島砂防維持管理・施設整備効率化検討業務
平成25年	雲仙復興事務所（九州地方整備局）　雲仙岳無人化施工・計画検討業務
平成24年	富士川砂防事務所（関東地方整備局）　H23早川流域砂防施設設計業務
平成23年	川辺川ダム砂防事務所（九州地方整備局）　川辺川流域砂防施設配置計画検討業務
平成21年	川辺川ダム砂防事務所（九州地方整備局）　川辺川流域危機管理検討業務
平成21年	長井ダム工事事務所（東北地方整備局）　長井ダム防災施設調査設計業務
平成20年	福島河川国道事務所（東北地方整備局）　阿武隈川水系砂防施設計画検討業務
平成20年	日光砂防事務所（関東地方整備局）　H19湯沢第3砂防堰堤モニタリング業務
平成19年	富士川砂防事務所（関東地方整備局）　釜無川流域砂防施設整備計画検討業務
平成18年	木津川上流河川事務所（近畿地方整備局）　宇陀川青蓮寺川山腹工計画検討業務
平成18年	岩手河川国道事務所（東北地方整備局）　降灰に起因した土石流危険度判定調査

事務所長感謝状

令和3年	川辺川ダム砂防事務所（九州地方整備局）　川辺川ダム砂防事務所管内被災状況調査業務（令和２年度７月豪雨災害復旧等支援活動功労感謝状）
令和2年	東松山県土整備事務所（埼玉県）　災害復旧工事（勝負平川土石流調査業務委託）
令和2年	利根川水系砂防事務所（関東地方整備局）　R1大笹地区災害対策検討他業務
平成28年	日光砂防事務所（関東地方整備局）　H27芹沢地区（間の沢）外応急対策調査検討業務

事務所長礼状

令和3年	県西土木事務所（神奈川県）　令和元年　災害復旧工事（査定第139号）（公共）その37 令和元年度　災害復旧工事（県単）　その29合併　設計業務委託
令和2年	横浜川崎治水事務所川崎治水センター（神奈川県） 平成30年度　砂防関係事業調査　業務委託（公共）その8
令和元年	横浜川崎治水事務所川崎治水センター（神奈川県） 平成29年度　砂防関係事業調査　業務委託（公共）その2
平成29年	県西土木事務所小田原土木センター（神奈川県） 平成27年度　防災砂防工事（県単）　明許繰越その1 平成28年度　防災砂防工事（県単）　当初18号その1 合併 土石流対策施設計画策定業務委託
平成28年	横須賀土木事務所（神奈川県） （横土374）平成27年度　通常砂防工事（公共）その1防災砂防工事（県単） その2（長寿命化計画基礎調査業務委託）合併

地域整備部長表彰

令和5年	青森県中南地域県民局　繰総砂委　第1-4号 堰口沢総合流域防災砂防（流木対策）設計業務委託
令和3年	青森県西北地域県民局　通委第7-5-1号 トモエ沢通常砂防設計業務委託
令和3年	青森県中南地域県民局　繰総砂委第1-2-9号 中碇ヶ関沢外総合流域 防災砂防設計業務委託
令和元年	青森県西北地域県民局地域整備部 通委第9-8-2号 トモエ沢通常砂防設計業務委託

県土整備部長表彰

令和3年	埼玉県県土整備部（東松山県土設備事務所） 砂防維持修繕工事（七重川砂防施設補強・改築等方針検討業務委託）
平成26年	埼玉県県土整備部（東松山県土整備事務所） 社会資本整備総合交付金（砂防）工事 （砂防えん堤予備設計業務）

県土整備局長表彰

平成29年	神奈川県県土整備局（厚木土木事務所） 平成28年度　防災砂防工事　設計業務委託 県単（その4）

県土整備局課長礼状

令和3年	神奈川県県土整備局 （河川下水道部砂防海岸課） 平成30年度 土砂災害警戒区域等指定関連業務委託（2月補正）　（その3）
平成30年	神奈川県県土整備局 （河川下水道部砂防海岸課） 平成29年度 砂防事業の手引き改定業務委託

理事長表彰

平成19年	国立研究開発法人　土木研究所 深層崩壊発生危険渓流の抽出手法に関する調査業務

砂防学会賞

令和元年	【論文奨励賞】 差分データとレーダー雨量データを用いた土石流の流出土砂量を規定する降雨指標に関する考察 【技術賞】 レーザ測距儀を用いたナップ飛距離及び水深の計測方法の提案と流速推定への応用